

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和6年7月11日(2024.7.11)

【公開番号】特開2023-43372(P2023-43372A)
 【公開日】令和5年3月29日(2023.3.29)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-058
 【出願番号】特願2021-150955(P2021-150955)
 【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00(2006.01)

10

H 0 4 N 5/74(2006.01)

G 0 9 G 5/377(2006.01)

G 0 9 G 5/38(2006.01)

G 0 3 B 21/14(2006.01)

G 0 3 B 21/00(2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

H 0 4 N 5/74 Z

G 0 9 G 5/00 5 3 0 M

G 0 9 G 5/36 5 2 0 L

20

G 0 9 G 5/00 5 3 0 D

G 0 9 G 5/38 Z

G 0 9 G 5/00 5 1 0 X

G 0 3 B 21/14 D

G 0 3 B 21/00 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月1日(2024.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

制御プログラム16は、プロセッサ11によって実行されるプログラムである。設定データ17は、プロジェクター1の機能や動作について予め設定されたデータを含む。対応データ18は、マーカー61の特徴と、プロジェクター1が選択する入力ソースとの対応付けに関するデータである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

マーカー61があると判定した場合(ステップS12; YES)、検出部13は、ステップS13に移行する。ステップS13で、検出部13は、マーカー61の特徴を検出する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

設定ガイド画像が表示された後、ステップS21において、検出部13は、マーカ-61の位置が、設定ガイド画像が示す設定領域82の内部であるか否かを判定する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

また、検出部13は、指示領域81を示す指示ガイド画像を、ステップS11でマーカ-61を検出する前に、表示してもよい。検出部13は、設定領域82を示す設定ガイド画像を、ステップS11でマーカ-61を検出する前に表示してもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

画像を表示している間、ステップS31において、検出部13は、指示領域81におけるマーカ-61の検出を試行する。指示領域81にマーカ-61がないと判定した場合（ステップS32；NO）、検出部13はステップS33に移行する。ステップS33で、処理部14は、マーカ-61がないことを報知する。続いて、ステップS34で、処理部14は、投写装置20による画像の表示を停止させる。処理部14は、ステップS35で、指示ガイド画像を投写装置20によって表示させ、本処理を終了する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

例えば、図6の例では、指示領域81にマーカ-61Aが設置され、確認領域83に、指示領域81のマーカ-61Aと同じ特徴を有するマーカ-61Aが設置されている。ここで、指示領域81のマーカ-61Aは第1マーカ-の一例に対応し、確認領域83のマーカ-61Aは第2マーカ-の一例に対応する。この場合、処理部14は、指示領域81にマーカ-61Aが設置されたことに対応する処理を行う。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

ステップS42で、検出部13は、指示領域81と確認領域83に同じ特徴を有するマーカ-61があるか否かを判定する。指示領域81と確認領域83に同じ特徴を有するマーカ-61がないと判定した場合（ステップS42；NO）、検出部13はステップS11に戻る。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

ステップS42で、検出部13は、指示領域81と確認領域83に同じ特徴を有するマーカ-61があるか否かを判定する。指示領域81と確認領域83に同じ特徴を有するマーカ-61がないと判定した場合（ステップS42；NO）、検出部13はステップS11に戻る。

10

20

30

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

指示領域81と確認領域83に同じ特徴を有するマーカー61があると判定した場合(ステップS42; YES)、検出部13はステップS17に移行する。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0113

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0113】

処理部14は、指示領域81にマーカー61Cが設置されたことを検出部13によって検出した場合に、マーカー61Cの特徴に基づき対応データ18を参照する。処理部14は、対応データ18に従って2つの入力ソース2を選択し、第1入力ソースとしての入力ソース2に基づく投写画像71Aと、第2入力ソースとしての入力ソース2に基づく投写画像71Bとを、対応データ18が指定する位置に表示させる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0123

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0123】

上記表示方法は、検出面DAに含まれる指示領域81にマーカー61が設置されたことを検出することと、指示領域81において検出されたマーカー61の特徴に対応付けられた入力ソース2から出力される画像データに基づく画像をスクリーンSCに表示することと、を含む。例えば、第1指示領域としての指示領域81にマーカー61Aが設置されたことを検出することと、マーカー61Aの特徴に対応付けられた入力ソース2Aから出力される第1画像データに基づく投写画像71AをスクリーンSCに表示することと、を含む。これにより、ユーザーが指示領域81にマーカー61を設置することによって、ユーザーが所望の画像をスクリーンSCに表示させることができる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0132

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0132】

プロジェクター1は、光源21と、光源21が発する光を変調することによって画像光PLを出射する変調装置22と、画像光PLをスクリーンSCに投写する光学ユニット23と、を含む投写装置20を備える。プロジェクター1は、検出面DAに含まれる設定領域82を撮影して撮影データを出力する撮影装置30と、プロセッサ11と、を含む。プロジェクター1は、設定領域82にマーカーが設置されたことを検出する検出部13と、処理部14と、を含む。プロセッサ11は、投写装置20によって、第1入力ソースとしての入力ソース2から入力された第1画像データに基づく第1画像としての投写画像71Aを投写する。プロセッサ11は、撮影装置30の撮影データに基づいて、指示領域81にマーカー61Aが設置されたことを検出し、投写画像71Aを投写しているときに、設定領域82にマーカー61Aが設置されたことを検出した場合に、マーカー61Aの特徴と入力ソース2とを対応付ける。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0134

10

20

30

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0134】

[9 . 他の実施形態]

上記実施形態は本発明を適用した一具体例を示すものであり、本発明はこれに限定されるものではない。

【手続補正13】

【補正対象書類名】図面

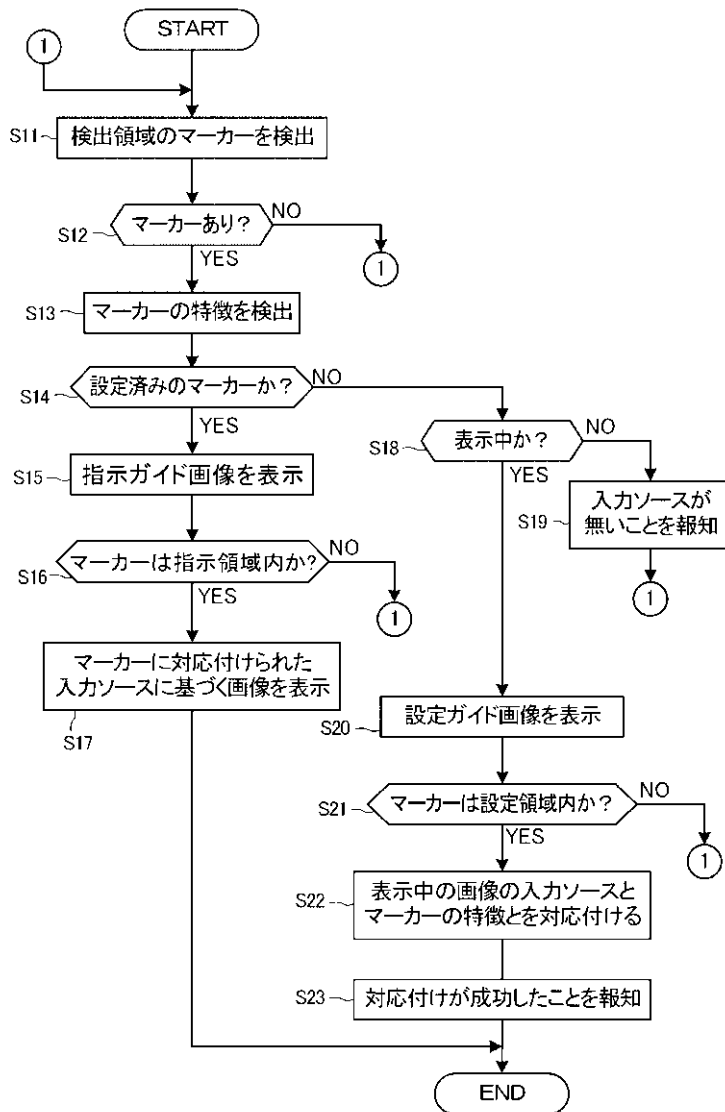
【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

10

【補正の内容】

【図4】



20

30

40

【手続補正14】

【補正対象書類名】図面

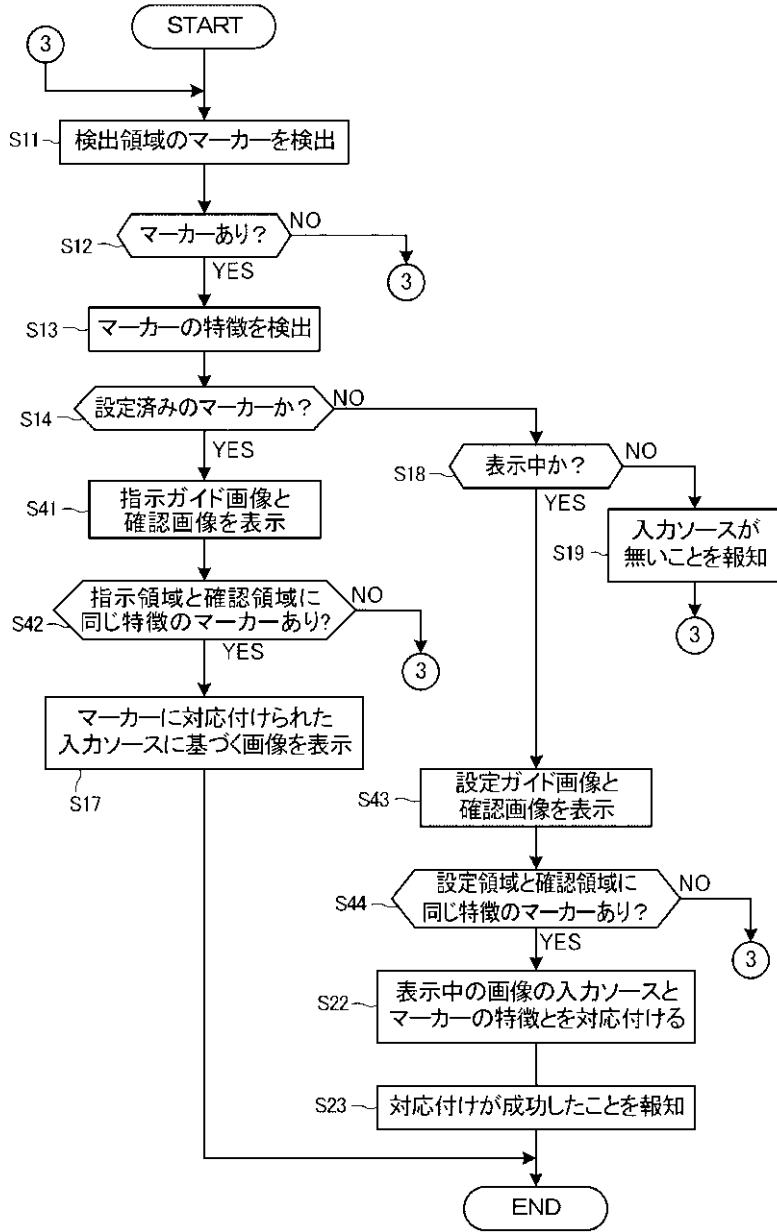
【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 図 7 】



10

20

30

40

50